

### ③ ハカマオニゲシ (ブラクテアツム種)

(学名：パバヴェル・ブラクテアツム・リンドル)

1. 初夏に、径10cmの鮮やかな深紅の大きな花を咲かせます。花びらは4～6枚で、基部に黒紫の鮮明な斑点があります。
2. 花びらのすぐ真下に4～6枚のハカマ (苞葉) があります。これは、果実が出来て、果実の下の茎 (果梗) が枯れるまで残り、ハカマのように見えるので、「ハカマオニゲシ」の名前の由来となりました。
3. 草丈は60～100cmで、葉や茎全体が白く硬い毛で覆われています。
4. 葉は濃緑色で、鳥の羽のような形に深く切れ込んでいます。地面に近い部分の葉 (根出葉) は密についており、長い柄 (葉柄) があり、長さは柄を含め20～25cmです。
5. つぼみの表面には、硬く伏した (寝た) 毛が多数ついています。
6. 果実は、表面に毛がなく、青緑色です。

※ハカマオニゲシは、後述する「植えてもよいけし」の「オニゲシ」と、外観が非常に良く似ています。

ハカマオニゲシの「鮮やかな深紅の花の色」、「花びらの基部に存在する鮮明ではっきりした黒紫の斑点」、「つぼみの表面の伏した (寝た) 硬い毛 (オニゲシの毛は直立している傾向がある)」は、両種の植物を見分ける手がかりです。

※ハカマオニゲシは、「オニゲシ」あるいは「オリエンタルポピー」の名で園芸用に出回ることがありますので、注意が必要です。

ハカマオニゲシ  
(植えてはいけなけし)



オニゲシ  
(植えてもよいけし)



ハカマオニゲシ



オニゲシ



ハカマ (苞葉)



つぼみ



花